

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 令和元年度(2019年度)  
管理運営評価票

所管部課:教育庁市町村教育局社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
施設概要	<p>① 所在：菊池市原4885番地5</p> <p>② 施設：宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等</p> <p>③ 目的：本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	302,932,000円（4施設合計、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	29,115人	28,230人	前年度実績 27,111人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

研修者延べ人数の目標値は達成しなかったが、新型コロナウイルスの影響で2月末から閉館したにも関わらず前年度実績を上回ったことは評価できる。

県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組みを期待する。

## 2 管理業務実施状況

### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	給湯運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年6回（隔月）	専門業者に委託
	身障者用昇降機点検	年1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	自家発電設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査（残留塩素）	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	週1回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	水質検査	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
	建築設備定期点検	年1回	
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。</p>			

## ② 運営事業実績

### 〔主な事業・イベント〕

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
幼稚園・保育園連携事業～自然のど真ん中で生き生きと～(全6回)	6～12月	138人	(1) 幼児期における自然体験活動の機会を増やし、自然体験活動を通して、人間形成の基礎(知・徳・体)を培う。 (2) 保護者にとって自然体験活動の楽しさや自然体験活動を子育ての中に入れていく重要性を知る機会とする。 (3) 幼稚園・保育所と自然の家が連携して自然体験活動の指導法を開発する。
ドキドキ!わくわく!サマーキャンプ	8/24, 25	41人	川遊びを通して、異年齢集団の子どもたちの交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
菊池のサバイバルキャンプ	9/14～16	33人	自然体験活動を通して、異年齢の子どもたちが、交流を深めながら、生きる力を身に付けるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。また、体験的に学ぶ防災プログラムを実施し、防災教育の視点に立った青少年の体験活動を推進する。
ファミリーキャンプ	10/26, 27	44人	自然体験活動を通して、親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図る。さらに、アウトドアで過ごす楽しさを味わいながら、家庭教育機能をより一層高めるとともに、親子での思い出作りの機会とする。
スマイルキャンプ!	11/3, 4	24人	自然体験活動を通して達成感や満足感を味わい、子どもたちの自尊心を高めるとともに、他参加者との交流を深める。
水迫地区新春どんどこや	1/12	15人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、日本の伝統文化を学ぶとともに過疎地域と都市地域の交流を図る。
森の通学学習(全3回)	1～2月	67人	子どもたちにとっては共同生活を通して自立心を育む機会とするとともに、親にとっては子離れを体験し、家庭教育を見直す機会とする。
<p><b>【点検・調査結果及び評価】</b></p> <p>実施した企画事業において、ほぼ全事業で定員を超える申込み結果を得ることができ、利用者のニーズとマッチングした事業を企画・実施できている。</p>			

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	324 日	349 日	92.8%
	宿泊可能日数	322 日	341 日	94.4%
	利用日数	242 日	249 日	97.2%
	利用率	74.7%	71.3%	104.7%
	利用者実数	7,804 人	7,002 人	111.5%
	利用者延べ数	16,660 人	14,669 人	113.6%
キャンプ場	開館日数	324 日	349 日	92.8%
	宿泊可能日数	322 日	341 日	94.4%
	利用日数	19 日	10 日	190.0%
	利用率	5.9%	2.9%	204.7%
	利用者実数	414 人	147 人	281.6%
	利用者延べ数	852 人	294 人	289.8%
出前講座等	利用者実数	10,718 人	12,148 人	88.2%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>前年度に比べて施設の利用団体数が 31 増加し、利用者数は 2,000 人近く増加した。今後も安心・安全に利用してもらえる適正範囲を検討しながらできる限り多くの方に利用してもらえるよう努めてほしい。</p>				

### 4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内訳	金額 (円)	
利用料金収入	本館	一般 1,459 人、高校生以下 6,683 人、就学前の者 294 人	2,732,870
	キャンプ場	一般 51 人、高校生以下 326 人、就学前の者 4 人	48,410
	宿泊を伴わない利用	一般 587 人、高校生以下 474 人、就学前の者 167 人	82,400
指定管理料	指定管理者による本施設への振り分け	59,668,000	
企画事業等収入	10 事業	875,985	
その他活動収入	出前講座 149 団体	943,300	
プログラム活動料金		1,577,200	
食事代		13,806,740	
シーツ等クリーニング代		860,859	
雑収入		99,534	
合計		80,695,298	
	収入未済額	0	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項目	内訳	金額（円）
人件費		47,332,188
運営管理費	旅費、管理費、活動プログラム費等	12,678,204
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	23,749,051
企画事業費		664,850
合計		84,424,293
【点検・調査結果及び評価】		
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。		

## 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成31年4月1日～令和2年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	148団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	112	75.7	32	21.6	4	2.7	0	0	0	0	0	0
	活動内容	96	64.9	23	15.5	7	4.7	0	0	0	0	22	14.9
	職員の受入れ対応	122	82.4	20	13.5	5	3.4	1	0.7	0	0	0	0
	職員の指導・助言	116	77.9	27	18.1	5	3.4	1	0.7	0	0	0	0
	食堂スタッフの対応	77	52.0	28	18.9	7	4.7	0	0	0	0	36	24.3
	食事の質	53	35.8	38	25.7	17	11.5	6	4.1	1	0.7	33	22.3
	食事の量	53	35.8	31	20.9	25	16.9	5	3.4	1	0.7	33	22.3
	屋内の施設・環境	74	50.0	52	35.1	14	9.5	2	1.4	0	0	6	4.1
	屋外の施設・環境	73	49.3	44	29.7	14	9.5	1	0.7	0	0	16	10.8
また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答		
	111	75.0			37	25.0			0	0	0	0	
利用者からの意見等													
【点検・調査結果及び評価】													
「食事の質」、「食事の量」について、「非常によい」の評価が減少している。青少年教育施設も宿泊施設である以上、食事が施設全体の印象を左右することから、安心・安全の観点を含め食堂サービスのクオリティー向上に引き続き取り組んでいただきたい。「食堂スタッフの対応」については「非常によい」の評価が上昇しており今後の施設改修工事と併せて全体の評価アップにつなげてほしい。													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
国道 387 号線から菊池少年自然の家までの市道に、隣接林地からの枝葉の伸びや、離合困難な道幅についての意見について。	これまでも管理する菊池市土木課へ連絡を入れているが、土地所有者との連絡がつかない等、対応に苦慮されている現状。施設としてできることは限られているため、今後も関係部署と連絡を取っていく。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 指定管理者とも連携し、推移を確認していく。	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
本館利用・キャンプ場利用・出前講座全てにおいて、前年度に比べて利用者が減少している。	本館利用については前年度より 31 団体、延べ数で 1,991 人増加。キャンプ場の利用については、企画事業での利用を積極的に行う等で 4 団体、延べ数で 558 人増加した。出前講座については前年度よりも減少したが、1～3 月において工夫の余地があるため、この時期のニーズを探り、それに応じたプログラムを開発していく。
食事の質の改善	食事を取らなかった団体の無回答分を差し引いた計算では、アンケートの「非常に良い」の数値は前年度と同じであったが、「よい」は 10%アップした。メニューの改善には継続的に取り組み、年度末に再度メニューの改編も行った。引き続き、利用団体の声を拾いながら、改善に努めていく。
<b>【点検・調査結果及び評価】</b> 指摘事項に対する対応・取り組みは評価できる。 食事の質の向上については、予算の制約はあるが、小さな改善活動を継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。	

## 8 その他

アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
----------------------------------------------------------------------